

米RBTS 総代理店

NIKI

株式会社 二樹エレクトロニクス 青葉事務所

〒225-0024 横浜市 青葉区 市ヶ尾町 1068-54

電話：045-973-7451 FAX：045-973-5604

e-mail：rbtsniki@v09.itscom.net homepage：<http://home.v09.itscom.net/rbtsniki/>

平成23年6月27日

ARMDテクニカルニュース No. 15

はじめに

謹啓

顧客様各位におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素から米RBTS社のARMDをご愛顧下さいまして、誠に有難う御座います。

このたびの東日本大震災はわが国に大きな被害をもたらし、爪跡を残しました。被災された顧客様には、心からお見舞申し上げますとともに、より早い復興を祈念申し上げます。

さて、昨年4月にNews No. 14を刊行いたしました。その後大分予定より遅れましたが、このたびARMD V5.7 G2がリリースされました。そんなことからそれに合わせて、本Newsを刊行することに致しました。

さて、このたびのVersion-upからは、従来のCD配布の方法を取りやめて、Downloadいただくようになりました。わが国のARMDにおいても、Paperlessと同じく、世の趨勢に従いました。そのためお手数をお掛けしますが、ご了解いただきたく存じます。Version-up操作上何か問題がありましたらご相談下さい。

ARMDは標準ソフトとして、一同維持発展を続けて参りますので、どうぞ末永くご愛顧ご愛用下さいますようお願い致します。

敬白

(株)二樹エレクトロニクス 青葉事務所 蜂須賀 照憲

お知らせ No. 1

< V5.7 G2 Version up の国内の遅延 >

ARMDは現在までV5.7 G1で、大きな実績を残して参りました。次のG2へのVersion-upが今日まで遅延しましたことをお詫び申し上げます。

V5.7 G2につきましては、G1リリース後にお客様からご指摘を受けたことや、われわれ自身で気がついたことなどを追加・改良しRBTSにて纏め上げました。OSがらみのtroubleは特にありませんでした。

ただ、グラフ作成の機能が従来のRBTSGrafと共にARMDGraphとして大きく追加されました。新たに開発されたと云っても過言ではないほどです。これらをトレースし、咀嚼して、和文の解説・概説をそのうちにご提供したいと考えております。そのために、試行を含め数ヶ月のお時間を頂きたく、ご了解のほど御願ひ申し上げます。なお、従来のRBTSGrafは今まで通り使えます。従来の慣れの上でRBTSGrafをお使いいただきながら、徐々に新しいARMDGraphを使いこなすようにしていただ

くとよろしいかと存じます。

保守サービスにご加入いただいているお客様には、別途次項記載の解凍パスワードなどをご提供いたします。

お知らせ No. 2

< 新版配布方法の変更について -- **重要** -- >

新版の配布につきましては、原則として、前述のように今までのCDや説明書類の配布による方法を廃止しまして、すべて Download していただく方法で御願ひすることになりました。この方法は V5.7 G1 のときも有効で、予告もしましたが、並行してCDや説明書を配布しましたので、ほとんど用いられませんでした。新しい方法での Version-up を、今回からよろしくお願ひ致します。

新しい方法の概略は下記の通りです。ここに概略を予告しておきます。

2-1. Download するファイルと制限、Password、所要時間など

//www.rbts.com/downloads/ (RBTS のHP) から Download して下さい。和文の解説書類は //home.v09.itscom.net/rbtsniki/download/ (弊社のHP) から Download して下さい。

- armd57G2-announcement.pdf リリース通知書です。
- armd57G2-flyer.pdf 内容概説書です。
和文のものは ARMD 新版 V57G2 の特徴.pdf です。
- Armd57G2-Description.pdf ARMD ソフト詳述書、前回とあまり変わりありません。
- Armd57-installation-and-key-update.pdf 搭載手順書です。
和文のものは ARMD 新版 V57G2 搭載手順.pdf です。
- Armd57G2_GenRel201105a.zip 圧縮された ARMD ソフトウェア本体です。Download には約 1Hrs かかります。解凍には、unzipping Password が必要ですが、保守に加入されているお客様には別途お知らせいたします。この本体の圧縮ファイルの扱い上何か問題がありましたら、青葉事務所に申しつけて下さい。ご質問やご要望など何でも結構です。

保守に非加入の場合は、Password は付与されません。

この解凍済ファイルの copy-CD をご要求により郵送支給できますが、数日かかります。

2-2. メモリーキー Update Code の更新

搭載し終わって、それを active にするには、メモリーキー (Dongle) を Update する必要があります。その手順は従来と変わりありません。

搭載手順書は 5 ページから成る” Version 5.7 Installation” (英文) ですが、搭載前にお読み下さい。和文のものもお願いします。

COBRAEHL を含むシステムを Vista に搭載されるお客様は、英文解説の 4-項にも従って下さい。Memory Key (Dongle) の更新方法は、いつもの通りですが、詳細は和文の搭載手順にも書いてありますので、ちょっとご面倒ですがよろしくお願ひ申し上げます。米国内なら電話 1 本で済むことですが、当地では時差と言語の差があり、やり難いので、e-mail を出すのが一番簡便かと存じます。

欲しい Version No. と、システムの Serial No. と、お名前・社名 (いずれも英文) はミス排除のため必ず記入下さい。Serial No. は、各団体様に割り当ててある unique な番号で、保守保証書

などに書いてあります。不明なら空欄でも受け付けてはくれます。

なお、Key Update の操作時は、ARMDのKeyだけをUSBまたはPrinter Port に取付け、他のMemory Keyがあればそれらはすべて外して行なって下さい。

新しくUpdateされたKeyでも、旧Versionのシステムを動かすことができます。

新しいUpdate Key string を使って別の同種のMemory Keyをactiveにすることは出来ません。

保守サービスに非加入の場合は、Codeの更新は出来ません。

以上、宜しくお願いします。

お知らせ No. 3

< 杉村様について >

技術協力をしていただいている杉村回転機械研究所の杉村章二郎様は、カナダに移住されましたが、わが国にはしばしば訪日されます。

メールアドレスは、以前ご紹介したとおりで、訪日中のメール連絡も同じ sugiplanning@hotmail.co.jp です。何か緊急のご用などありましたらメールを入れていただきたいと思います。従来通り、メールでのサポートは続けていただくことになっておりますので、ご遠慮なく質問していただきたいと思います。Skypeにて映像付電話会話も出来ます。このときは時差を考慮して下さい。Contact name は青葉事務所でお教えいたします。また会話希望をメールでお申込下さい。

お知らせ No. 4

< 価格の改定 >

RBTSは今回のVersion upと同時に少し価格改定を行いました。3つのsubsetと各moduleの価格を少しづつ上げましたが、為替変動の範囲と考え、わが国での価格は据え置きました。

今後大きな為替変動がありましたら、そのときは勝手ながら改訂させていただきます。よろしくご了解下さい。

どうでもよいお話

ARMD programはFORTRAN言語で書かれています。この言語は1950年代に考案されましたが、それはARMDの母体の開発が始まった頃と一致しています。

FORTRANはFormula Translationの略ですが、まさにその名の通り、技術計算志向の言語として開発されました。当時コンピュータも小さく（ガラは大きい）、遅く、OSの包容力も弱く、そんな中でFIRL（フランクリン研究所、現RBTS社）の開発者は大変苦勞したようです。1970年代にはスーパーミニコン全盛となり、FORTRANも77から、さらにextendされたcompilerが出てきて、開発者は大分楽になりました。しかしまだCPUメモリはせいぜい64~256KB位で、Overlay手法で凌いでいました。処理速度もMIPS単位でした。端末機もプリンター方式で、紙喰虫といわれていました。今のPCなんていうのはまだありませんでした。それが現今では安価で強力なPCが出回り、

それも CPU メモリは MB から GB 単位まであり、処理速度も想像もしなかったような超の飛躍を遂げました。FORTRAN はというと、高水準記述言語として厳然と存在していますが、その後特に大きな進歩はしていないようです。もう 1980 年代には熟しきったようです。この言語さえあれば、技術計算のみでなく、コンピュータに対し、処理してもらいたいあらゆる手順を記述し指示できる完璧な完成した言語として、当然のことながら今でも君臨しています。

ARM Dはその根幹部が 1950~60 年代の classic FORTRAN で書かれています。いわば文語体もどきです。その頃は変数や配列や Subroutine の名前は 6 文字以内という制限がありました。それがいまだに部分的に踏襲されて残っています。ご存知の ARM D の module には ROTLAT, JURNBR, THRSBR, COBRA3 のような 6 文字のものが多いです。RBTS Graf は 8 文字制限の時代の産物のようです。RBTS Graph とすれば 9 文字になり、compiler が受け付けなかったようです。文字数制限された名前は、コンピュータのメモリが少なかった時代の産物とも云えます。現今では compiler が泳ぐ領域が広くなり、制限も解除されています。今次の ARM D Graph も 9 文字に増えています。

こうして見ますと、ARM D が如何に古くからの遺産としての program であるかがよく分かります。それは見えない部分のことで、PC 利用者には余り関係のない、『どうでもよいお話』なのですが、たまには裏方の開発者のご苦勞に想いを馳せて、その作品のメリットを享受することに感謝したいと思います。RBTS では、今もシステムの改良発展のため FORTRAN を道具にして Algorithm 構築のために格闘しております。

青葉事務所 蜂須賀照憲

- - - - -

毎度本ニュースでサービス提供しております杉村様の『技術解説』は、今回は杉村様多忙のため割愛させていただきます。しかし、いろいろとお客様に知っていただきたいことが沢山あるとおっしゃっています。出来上がり次第ニュースで配布いたしますので、ご期待下さい。

以上